

企業訪問 循環型最前線レポート

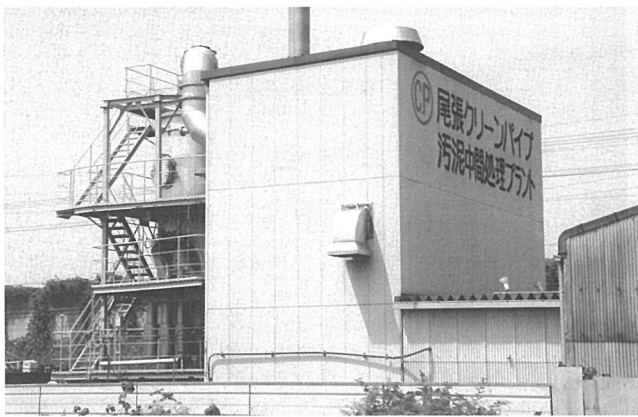
(株)尾張クリーンパイプ

最新の技術と設備で

リサイクル商品の

品質向上に挑む

(株)尾張クリーンパイプ



株式会社 尾張クリーンパイプ

■代表者/中西 清 ■所在地/愛知県小牧市間々原新田
1053番地 TEL.0568-73-9933 FAX.0568-75-7770

■収集運搬:愛知県・豊田市/燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類、ダスト類
名古屋市・岡崎市/汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類

豊橋市/汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類

■中間処理:愛知県/汚泥

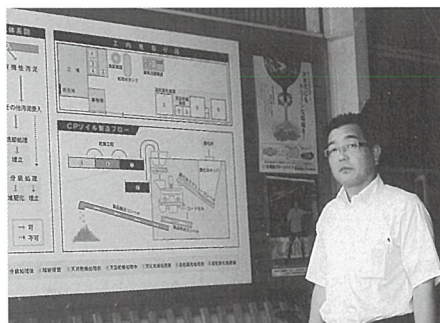
(株)尾張クリーンパイプは、東海3県を中心に排水路浚渫工事、産業廃棄物の収集運搬、道路維持などの清掃事業部と汚泥中間処理、積替保管、環境機器販売などの環境事業部を主要事業として、都市や工場などの環境クリーンアップとその廃棄物の適切な処理を進めている企業です。



リサイクル商品の品質向上に意欲的に取り組む中西社長

現在は「環境保全、リサイクル材を使いましょう」という方向に世の中の視線が向き、法整備も進められていますが、(株)尾張クリーンパイプでは法整備の以前から汚泥のリサイクルを進めてきました。

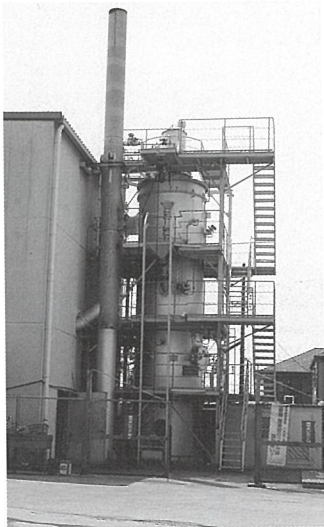
「当社では、厳しい製品管理の中で、環境に配慮したリサイクル材を製造しています。有機性汚泥は堆肥化をして“C.Pマット”として、無機性汚泥は路盤材の建設汚泥改良土“C.Pソイル”という商品として製造しています。“C.Pソイル”はあいくる



汚泥処理のフローについて説明する中西社長

(愛知県リサイクル資材評価制度)も取得しています」と話すのは代表取締役の中西 清社長。「とにか

※C.Pマット、C.Pソイルは商品ブランド名…建設汚泥改良土



有機性汚泥は堆肥に。

く品質のいいものを作ること考えています。売れなければまた廃棄物になってしまいますから、うちの商品は土壌環境基準29項目を厳密に検査しています。これは出来上がってからだけではなく、収集の段階でも分析をしていますから品質には自信があります」と中西氏は話す。

実際に汚泥中間処理プラントにもお邪魔しました。煙突からのぼる煙も無色、無臭で、機械の音も外に漏れることなく非常にクリーンな印象を受けました。また、敷地入り口には黄色のフヨウの花が咲き、周辺の緑多い環境になじんでいるようでした。

汚泥リサイクルシステム造粒固化処理の際に出る浄化された水の洗車などに使われているということで、商品だけでなく、会社の姿勢そのものが環境に配慮していることが伝わります。

中西氏に今後の(株)尾張クリーンパイプの取り組みについて伺うと「今後は、新しいものに取り組みしていくというのではなく、現在の商品をさらにレベルアップさせていきたいと考えています」という言葉が返ってきました。

実際に商品の品質向上につながるような研究をしている機関や取り組んでいる会社があると聞くと北

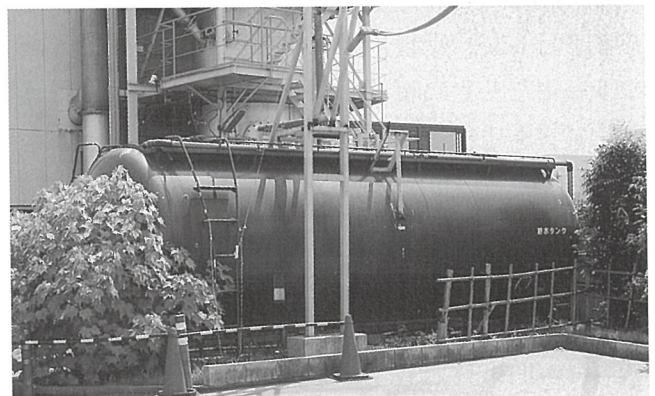


無機性汚泥は路盤材に。

海道や東京にも足を運び、自分の目で確かめ情報を集めているということです。

「これまで、品質そのものには自信がりましたが、どうしても不純物が混じってしまうことがありました。しかし、今度は処理の段階でその不純物を機械的に取り除くシステムを入れることにしたので不純物の混入がなくなり、さらにお客様のニーズにあわせた品質の向上ができると思っています」と中西社長は自信をのぞかせていました。

しかし、このシステムだけに甘んじることなく、(株)尾張クリーンパイプは、今後も最新技術と設備を導入していくとのことでした。



水処理装置で浄化された水は洗車や庭の散水に。